

一般財団法人さっぽろ産業振興財団 令和4年度事業計画・目標一覧

令和4年(2022年)3月

所管 番号	事業名	令和4年度		支出予算額 (前年度 支出予算額)	令和3年度(見込み)		今後の方向性(概ね5年)	
		事業計画	事業目標		(単位:千円)	事業実績		課題
産業振興センター				440,010	(402,693)			
1	産業振興センター管理運営事業 【札幌市受託事業】	<ul style="list-style-type: none"> セミナー等利用促進のためのPR スタートアップ・プロジェクトルーム入居者の発掘及び入居者への経営相談等支援 	<ul style="list-style-type: none"> セミナー等利用促進率: 80%以上 スタートアップ・プロジェクトルーム入居率: 80%以上※面積ベース 利用者アンケート満足度: 90%以上 	114,191	(112,499)	<ul style="list-style-type: none"> セミナー等利用促進率: 42% スタートアップ・プロジェクトルーム入居率: 78% 利用者アンケート満足度: 85%(上期) 	<ul style="list-style-type: none"> セミナー等利用促進率向上 スタートアップ・プロジェクトルームの入居率の維持 	<ul style="list-style-type: none"> 札幌の産業振興拠点としての機能発揮 地域を代表するような企業の輩出
2	中小企業経営セミナー等事業 【札幌市補助事業】	<ul style="list-style-type: none"> 新入社員向け、中堅、管理職を対象としたセミナー等の開催 事業承継セミナー、DXセミナー等の開催 起業道場(6回で1シリーズ完結)、ソーシャルビジネススクール(4回で1シリーズ完結)等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成セミナー: 18回/年 経営課題解決セミナー: 25回/年 創業セミナー: 24回/年 	17,932	(17,100)	<ul style="list-style-type: none"> 創業塾等: 13回、延243名参加 起業道場: 2期(12回)、延34名参加 起業志望者向け講座: 5回、延195名参加 経営者向けセミナー等: 17回、延372名参加 人材育成セミナー: 18回、延305名参加 	<ul style="list-style-type: none"> 創業者向けセミナー受講生のスタートアップ・プロジェクトルームへの入居 ニーズの高い、中小企業の人材育成のためのセミナーの拡大 コロナ禍によって経済環境が変化する中、ポストコロナを見据え、時代に即したセミナーの展開 	<ul style="list-style-type: none"> 創業及び新たな事業分野への進出の促進 企業活動を支える人材の育成による企業経営力の強化
3	オンライン配信総合サポート事業 【財団自主事業】	<ul style="list-style-type: none"> オンラインセミナーの活用方法の提案やオンラインセミナーの開催支援 	<ul style="list-style-type: none"> オンラインセミナー開催支援: 24回/年 	2,173	(1,000)	<ul style="list-style-type: none"> オンラインセミナー開催支援: 44回/年 	<ul style="list-style-type: none"> 広報強化による利用促進 	<ul style="list-style-type: none"> 自治体、支援機関との連携強化による有効な情報発信
4	北大ビジネスインキュベーション支援事業 【札幌市受託事業】	<ul style="list-style-type: none"> インキュベーションマネージャー1名の派遣による施設入居企業に対する経営支援 	<ul style="list-style-type: none"> 経営アドバイス、マッチング件数: 70件 情報提供件数: 1,600件 	4,975	(4,572)	<ul style="list-style-type: none"> 経営アドバイス、マッチング件数: 80件 情報提供件数: 1,000件 	<ul style="list-style-type: none"> 潜在的な入居企業の発掘 時代に即した入居者支援の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 入居企業の成長による市内の新産業発展
5	食品開発支援事業 【札幌市補助事業】	<ul style="list-style-type: none"> アドバイザー活用を前提とし、市場ニーズを踏まえ持続的な商業流通を目的とした新商品開発から販売まで一貫したハンズオン型支援 道内1次産業、2次産業の情報収集と市内3次産業の課題の把握と解決に向けたマッチング支援 輸出国に適合した食品開発とマーケティング活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> 【国内向け食品開発】 新商品開発のための補助: 7件程度 新商品開発250万上限×4件 PB・姉妹品開発100万上限×3件 採択企業へのアドバイザー派遣: 21回 採択企業7件×3回程度 セミナー・勉強会等の開催: 2回 【海外向け食品開発】 輸出仕様食品開発のための補助: 10件採択 採択企業10社に対し、海外市場に精通する専門家3社による企業訪問及びオンラインによるアドバイス: 20件 採択企業対象の勉強会開催: 2回 	55,000	(52,000)	<ul style="list-style-type: none"> 【国内向け食品開発】 食品開発のための補助: 7件採択(新商品、既存商品の姉妹品、PB等の開発) 採択先へのハンズオン支援: コーディネーター及び流通企業5社のパイヤーによる商品開発過程のアドバイス セミナー、勉強会等の開催: 1回 【海外向け食品開発】 輸出仕様食品開発のための補助: 9件採択 過去及び今年度採択企業に対する販路開拓支援: 海外パイヤー商談会やテストマーケティングの案内 	<ul style="list-style-type: none"> 北海道の農水畜産資源を「原料」として供給する形態から、「商品」化し付加価値をつけて製造・販売する形態への構造転換ニマーケットイン思考の商品開発に向けた「マーケティング」の重要性 市場ニーズ(マーケティング)や販路(販売戦略)を踏まえた持続的に商業流通可能な商品開発への誘導 	<ul style="list-style-type: none"> 企業の商品開発に係るマーケットイン思考のデザイン戦略レベル(マーケティング、ブランディング)向上への支援 食品加工企業の成長・拡大を考慮した流通企業とのマッチング機会創出による商品開発力向上支援 道内食料産業の付加価値の向上 市内企業の国内外への販売力強化
6	食品販路拡大促進事業 【札幌市補助事業】	<ul style="list-style-type: none"> 道産食品の全国流通活性化・販売促進に向けた支援 アジア諸国における道産食品の輸出活性化に向けた支援 各国マーケットの需要及び受入状況調査、道内サプライヤーの状況把握、効果的な商談が見込める商材の発掘 	<ul style="list-style-type: none"> 【国内販路拡大】 国内流通企業連携取組: 5社程度 国内展示会等出展による支援(国内): 1回 FSSF2022大阪出展支援40社 展示商談会等出展による支援(国内): 7回(スハラ食品、伊藤忠食品等) 国内流通企業との商談会等開催: 10回 国内セミナー・勉強会等の開催: 2回 【海外販路拡大】 海外向け商談会の開催: 4回 財団コーディネーターによる相談対応: 180件 商談サポートによる輸出額: 80,000千円 	41,402	(39,402)	<ul style="list-style-type: none"> 【国内販路拡大】 国内アドバイザー(専門家)派遣: 20件(ハンズオン型食品開発補助金採択先6社に対し流通企業パイヤー5社による企業訪問・オンライン会議・メール・電話等によるアドバイス) 国内セミナー、勉強会等の開催: 1件 国内商談会開催: 12回(参加108社)(成約確定42社)(12月現在成約金額290万) 国内販促支援: 8件(百貨店物産展等出展) 国内展示商談会等による支援: 4回(展示会2回×62社、展示商談会2回×3社) 【海外販路拡大】 海外向け商談会(マレーシア、ベトナム、台湾、香港ほか)開催: 5回(参加88社) 海外テスト販売(ベトナム): 1回(参加14社) 食品輸出及び海外販路に関する支援: 財団コーディネーターによる相談対応、販路マッチング180件 海外向け商談支援による輸出額: 80,000千円 	<ul style="list-style-type: none"> 【国内販路拡大】 全国流通への物流コスト高と物流の採算性及び継続性 仕向地ごとのマーケットに即した戦略的な販路開拓、商流構築 マーケティングによる市場需要に即した販売促進の営業力 流通企業とのマッチング機会を有効的に活用する企業の積極性 【海外販路拡大】 輸出志向企業の発掘 海外提案の前提となる基本的貿易知識の習得 海外に対する商品提案力及び企業PR力の向上 海外向け新規商流の構築 	<ul style="list-style-type: none"> 【国内販路拡大】 具体的なテーマ設定による販売現場を考慮した流通企業との連携取組による商談会開催 【海外販路拡大】 アジア諸国を中心とする販路拡大 企業経営における輸出の位置付け及び重要性の啓蒙・啓発 直接貿易を含む安定した商流及び物流の構築 支援先における輸出関連業務の自走化 【共通】 マーケットイン思考による商品開発・販売促進の啓蒙・啓発 北海道ブランドの維持・育成 流通企業との商談及び販売機会の創出による新規販路の拡大
7	台湾食品海外コーディネーター事業 【札幌市補助事業】	<ul style="list-style-type: none"> コーディネーターの配置による台湾への輸出拡大(食品海外販路拡大促進事業より分割) 	<ul style="list-style-type: none"> 台湾における市場可能性調査及び現地市場報告: 10件 現地商談マッチング: 25件 セミナー開催: 1件 	4,500	(4,500)	<ul style="list-style-type: none"> 台湾食関連市場に関する調査・報告: 18件 販路拡大に関する現地商談マッチング及び商談支援: 100件 台湾食品輸出セミナー: 1回 	<ul style="list-style-type: none"> 新規台湾進出企業及び輸出志向企業の発掘 台湾向け提案の前提となる基本的貿易知識及び輸出規制の習得 台湾向け新規商流の構築 	<ul style="list-style-type: none"> 台湾における販路拡大及び北海道ブランドの維持・育成 マーケットイン思考による商品開発・販売促進の啓蒙・啓発 直接貿易を含む安定した商流及び物流の構築
8	ASEAN地域食品海外コーディネーター事業 【札幌市受託事業】	令和3年度で事業終了		0	(3,000)	<ul style="list-style-type: none"> マレーシア食関連市場に関する報告: 10件 販路拡大に関する企業相談・現地商談マッチング: 45件 	<ul style="list-style-type: none"> 新規マレーシア進出企業及び輸出志向企業の発掘 	<ul style="list-style-type: none"> 市内事業者におけるマレーシア市場の認知度向上 道産食品のASEAN市場開拓、商流構築

所管 番号	事業名	令和4年度		支出予算額	(前年度 支出予算額)	令和3年度(見込み)		今後の方向性(概ね5年)
		事業計画	事業目標			事業実績	課題	
9	食品認証取得支援事業 【札幌市補助事業】	<ul style="list-style-type: none"> 食品メーカーの付加価値向上、国内外での競争力強化に向けたJFS等の認証取得支援 	<ul style="list-style-type: none"> 食品の製造・加工・提供について品質管理・衛生管理の各種認証取得のための補助：7件 200万上限×7社 認証取得に係るセミナー・勉強会等開催：2回（認証取得への啓蒙・開発） 	20,000	(19,000)	<ul style="list-style-type: none"> 認証取得のための補助：9件採択（海外販路拡大に繋がる認証取得案件増加） 認証取得に係る情報発信・啓発啓蒙等のセミナー、成果発表会の開催：1回 HACCP講習会の開催6回（事業推進課連携） 	<ul style="list-style-type: none"> 法令化されたHACCP制度や流通企業の品質管理の取組に対応するための、メーカー側への取組意識の向上及び啓蒙 各企業の取組に対する経営資源不足（人・金・もの・工場キャパシティ） 	<ul style="list-style-type: none"> HACCP等認証に係る重要性の情報発信及び取組推進への啓蒙・啓蒙 国内外への販路拡大を目的とした戦略的各種食品認証取得の必要性に関する情報発信 認証取得による企業付加価値向上と競争力強化支援
10	西日本新規市場販路開拓・拡大促進事業 【国補助事業】	<ul style="list-style-type: none"> 市内のデザイナーと連携し、デザイン思考を活用したブラッシュアップ 関西における展示商談会での「北海道ゾーン」の設置、バイヤーズガイドの発行と出展補助 商談スキルを上げるための勉強会、商談ツールとなるFCP展示会・商談会シートの添削指導 	<ul style="list-style-type: none"> 新規リーチ数：のべ1,680件 商談数：のべ1,280回 取引先増加数：のべ40件 	43,537	(26,267)	<ul style="list-style-type: none"> 「デザイン思考×ハンズオンによる持続的な『北海道の食』流通活性化事業」の採択が決定（事業期間：令和4年2月1日～令和4年10月31日） 	<ul style="list-style-type: none"> 販路の維持拡大のために必要な、商品・サービスの深掘り不足：ブランディング 市場（競合・顧客ニーズ）の理解不足：マーケティング 現状満足敵、伝統主義的な保守的な組織体制 	<ul style="list-style-type: none"> デザイン思考を取り入れた持続的なPDCAサイクルの構築 北海道からでは進出するにはハードルが高くなっている西日本市場において、道産品の定番化、定着を図ることによる商流回帰を足掛かりとした北海道食産業の持続的な躍進
11	プロダクトデザイナー派遣事業 【札幌市補助事業】	<ul style="list-style-type: none"> ものづくり企業の製品開発等の支援 ものづくりに関する「デザイン戦略」活用に向けた普及啓発 専門家（プロダクトデザイナー）による製品開発から販売戦略までの一貫的支援 	<ul style="list-style-type: none"> お悩み相談（山村氏）企業訪問：2回 2社×2回訪問 専門家派遣（プロダクトデザイナー）支援：全8回程度 3社程度×2～3回 成果発表会：1回 Web成果事例集更新：随時 	5,400	(5,400)	<ul style="list-style-type: none"> ものづくりセミナーの開催 製品開発プロデューサー及びアドバイザーによる支援：対象2社への専門家派遣（竹栄、辻野商店×各5回） Web勉強会：3回（対象：今年度支援企業2社）SNS活用法について実践講習実施 Web成果事例集追加更新(2件)：対象2社（チエモク、スージーパーカー） 成果発表会 	<ul style="list-style-type: none"> 外部の専門家を活用する効果の伝え方 ブランディングやイノベーションに対する製造業の意識 事業趣旨の周知と「デザイン戦略」の必要性の啓蒙・啓蒙の方法 	<ul style="list-style-type: none"> ものづくり企業における製品開発力や競争力の強化に「デザイン戦略」の重要性を啓発できる財団内各部の横断的な連携による事業趣旨の周知と好事例の発信 ものづくり産業企業の課題掘起し、下請け依存度低減の為に技術力・営業力の強化となる「気づき」機会の創出
12	小規模企業向け製品開発・販路拡大支援事業 【札幌市補助事業】	<ul style="list-style-type: none"> 小規模ものづくり企業向けの製品開発・販路拡大支援 ものづくり企業における課題（製品開発、行政に求める支援策等）把握 	<ul style="list-style-type: none"> 製品開発のための補助：10件採択 200万上限×10件 ものづくり企業等への企業訪問：120件 採択先企業、新規企業掘起し等への企業訪問 	25,500	(25,500)	<ul style="list-style-type: none"> 製品開発のための補助：12件採択 採択先へのハンズオン支援 ものづくり企業等への訪問：40件（12月現在） 	<ul style="list-style-type: none"> 市場性の高い製品開発案件の発掘 新製品開発取組意識の高い企業の発掘 小規模企業の経営資源上（人・金・もの）の課題による新製品開発への取組み制限 	<ul style="list-style-type: none"> 市内ものづくり関連企業の革新的な新製品・新技術の開発意欲のある企業発掘 支援によるものづくり産業の付加価値向上 地域を支える魅力ある企業への成長を促すための企業間連携の構築
13	映像産業振興事業 【札幌市補助事業】	<ul style="list-style-type: none"> 子どもや学生向けの映像業界キャリア教育ワークショップの実施（アニメCG人材、映画テレビ人材、動画広告人材） 企業活動における映像活用の促進イベントの実施（ビジネスマッチングイベント、ブランディング・プロモーション映像活用セミナー） 映像制作補助金（札幌のシティプロモーションに資する映像制作支援、札幌の映像クリエイターの活動支援、企業活動における映像活用の促進） フィルムコミッション活動を通じたシビックプライドの向上とシティプロモート 	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育系イベント参加数 50人 映像活用マッチング件数 10件 映像活用補助金 シティプロモート映像 2件採択 札幌クリエイター映像 15件採択 プロモーション・ブランド映像 5件採択 ボランティアエクストラ 3,750人 	105,400	(92,453)	<ul style="list-style-type: none"> 誘致した映画・ドラマの件数：2件 案件非公表 ボランティアエクストラ登録数：3,720人 映像制作助成金採択件数：13件（プロモーション映像制作10件、映画ドラマ3件） 国内外映像見本市は新型コロナウイルスの影響により出展中止 映像事業者と映像を活用する事業者のビジネスマッチング&セミナーの実施：夏開催…映像事業者16社・食関連企業26社、冬開催…映像事業者10社、企業10社（予定） 映像事業者、企業、市民、国内外に向けて分かりやすく札幌の映像施策や札幌の魅力伝えるホームページへの改修 子ども向け映像制作ワークショップ「60秒の世界」の実施 小中学校生12人参加、 ドキュメンタリー制作実践講座の実施 233人参加 札幌映像コーディネーター講習会の実施 70人参加 	<ul style="list-style-type: none"> 映像業界の担い手不足とアニメCG業界を志す学生の札幌から首都圏への人材流出防止 企業における、ブランディングやプロモーション映像の活用促進 下請け型受注構造と札幌発の映像コンテンツ制作の促進 	<ul style="list-style-type: none"> アニメ、CG、広告映像の成長分野での雇用拡大 企業と映像事業者のマッチング機会の創出 地場の映像事業者やクリエイターのオリジナル作品の制作意欲の向上と販路の拡大 映像施策や映像コンテンツを通じた札幌の魅力発信

所管 番号	事業名	令和4年度		支出予算額 (前年度 支出予算額)	令和3年度(見込み)		今後の方向性(概ね5年)	
		事業計画	事業目標		(単位:千円)	事業実績		課題
中小企業支援センター				76,043	(93,000)			
1	中小企業支援センター事業 【札幌市受託事業】	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症に係るワンストップ相談窓口の相談対応 中小企業者等が抱える経営課題解決に向けたアドバイザー派遣 創業・雇用創出支援資金の事後フォローアップによる継続的な支援体制の構築 オンライン機能拡充による経営相談窓口の支援強化 女性中小企業診断士による女性向け起業前後の経営支援 社会保険労務士等による求人方法、採用計画、テレワーク導入などへの経営支援の強化 創業・雇用創出支援資金並びにセーフティネット認定申請に係る適切な相談・融資受付 助成金・補助金提供システムの活用による支援窓口の強化 	<ul style="list-style-type: none"> アドバイザー派遣:年間10日(5社) 企業訪問等による事後フォローアップ:70件 経営・融資相談件数:4,000件 融資あっせん件数:60件 女性中小企業診断士による女性向け起業・経営相談窓口年間52日 社会保険労務士等による「さっぽろ人材サポートデスク」年間96日 新型コロナ感染症に係るワンストップ相談窓口の安定運営 職員の支援施策勉強会 年12回 	76,043	(93,000)	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対応緊急相談件数(緊急経営相談窓口併設による相談対応、感染防止対策協力支援金申請サポート、事業再構築補助金計画書作成支援等):7,400件(来訪1,350件,電話6,050件) アドバイザー派遣:年間2日(1社) 企業訪問等による事後フォローアップ:70件 経営・融資相談件数:4,200件 融資あっせん件数:70件 女性中小企業診断士による女性向け起業・経営相談窓口年間52日 社会保険労務士等による「さっぽろ人材サポートデスク」年間96日 セーフティネット認定申請受付件数:1,550社(コロナウイルス感染症に対する金融緩和措置) 	<ul style="list-style-type: none"> 広報強化による利用促進 女性起業家へ支援窓口の周知 中小企業等へ人材確保窓口の周知(ひとサポ、センターHP等による広報) 斡旋先への事後フォローの徹底、優良先の発掘 「さっぽろ創業支援プラザ」の活用 融資斡旋以外の経営支援の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 国や北海道・札幌商工会議所などの専門家派遣事業との連携 さっぽろ産業ポータルサイト・メルマガや税理士情報などを活用した創業支援資金等の広報強化 支援センター職員のアドバイスカの向上 中小企業者への円滑な資金調達の支援と質の高い経営支援 他中小企業支援機関との連携強化による有効な情報提供
エレクトロニクスセンター				259,042	(194,768)			
1	エレクトロニクスセンター管理運営事業 【札幌市受託事業】	<ul style="list-style-type: none"> 会議室等利用促進のためのPR 	<ul style="list-style-type: none"> 年度末入居率:80%超(技術開発室)※面積ベース 	71,777	(69,451)	<ul style="list-style-type: none"> 年度末入居率:74.4%(技術開発室) 	<ul style="list-style-type: none"> 会議室等利用促進のためのPR(SNS等による情報発信) 技術開発室の入居率の維持・向上 	<ul style="list-style-type: none"> 実証実験の場、交流の場としての利用等、エシセン・テクノパークが成す機能と活用法の提示
2	技術開発室支援事業 【財団自主事業】	<ul style="list-style-type: none"> 技術開発室入居率向上のための誘致活動及び適切な内覧対応とフォローアップ 		37,748	(35,549)			
3	IoT推進コンソーシアム事業 【札幌市補助事業】	<ul style="list-style-type: none"> AI、IoTなどのIT技術と企業が持つ蓄積データを融合した、市内IT企業が関わる新たなビジネスの創出や参画支援など、産学官連携によるコンソーシアム(AI部会:Sapporo AI Lab)の運営 AI開発に携わる技術者の経験値・実践力の向上を図りたい市内IT企業と、自社の経営課題の解決にAIを活用したいと考える企業とのマッチングを実施し、数件の課題解決プロジェクトを立ち上げる支援を実施。 地場のエンジニアを対象とした、先進的IT技術を中心とした普及・啓発セミナーの開催(Developers Festa Sapporo、テクニカルセミナー、等) 市内IT企業の技術力等を国内外に発信し、ビジネスマッチングに向けた情報発信(展示会出展、オンライン配信イベント、Webサイト構築による支援)を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> AI技術の社会実装の更なる促進と、市内IT企業のAI技術の向上を目的とした、AIの知見共有プロジェクト(AI道場)の実施:市内IT企業からの参加10社程度、AI社会実装案件4件程度のマッチングと開発成果の蓄積 AI部会やIT業界団体との共催主催によるイベント開催(市内IT企業が関わる、AIやIT技術のビジネス展開加速を目的):4回程度 先進的IT技術に関するセミナー(Developers Festa Sapporoなど)の集客:延べ200名 市内IT企業の国内外への情報発信(特徴的な取組を実施している市内企業を動画等でを活用し効果的に紹介) 国内展示会出展:3回程度。海外マーケット進出に向けた動向調査(視察orオンライン展示会) 市内IT企業が持つ先端技術を活用した新サービスの紹介を中心としたPRイベント(旧名称:サッポロミライナイト5回) 市内IT企業の持つAIなどの先端技術をPRするポータルサイト(旧名称:SAPPORO Pitch)の製作および保全(SAPPORO AI Lab公式ページの統合含む) 	46,000	(36,512)	<ul style="list-style-type: none"> AI人材育成講座「実践的データ分析講座」を3回、「初心者向けAIエンジニア育成」を2回、実施:延べ61名 AI部会主催で2回、IT業界団体との共催で3回のセミナーを実施:延べ235名参加 ITビジネス創出支援事業費補助金:4件採択 ITビジネス創出支援事業課題解決特化型プロジェクト「札幌型観光MaaS推進事業」に参画(観光地・旅程提案アプリのバージョンアップ) 先進的IT技術に関するセミナー(Developers Festa)実施(コロナ感染拡大防止のためリアルタイム配信):ユニーク視聴者数181名、動画視聴回数373回 エンジニア向けオンラインハンズオンセミナー(クリエイティブキャンプonline):参加者数延べ150名参加 	<ul style="list-style-type: none"> 新技術やデータを活用し、時代のニーズを踏まえたビジネスをデザインできる高度なIT人材の継続的な育成と最新技術の社会実装をリードしていくIT企業の支援と継続的な育成 最新技術トレンドを捉えたより実践的な技術研修の実施 ビジネスにおけるデータの活用を目的とした、市内IT技術者やAI技術の育成と適材適所で活躍できる機会創出 IT技術を活用した自社ビジネスの展開を核とする市内IT企業の増加及びライトアップ強化 	<ul style="list-style-type: none"> 地域から新しい技術や価値が継続的に生み出される仕組みの形成 市内IT企業が関わる、IT技術活用による新しい製品やサービスが創出される環境の醸成 最新の技術・サービスを提供する経営者・技術者のコミュニティの形成 IT(産業)が持つ魅力や社会貢献などの情報発信

所管 番号	事業名	令和4年度		支出予算額 (前年度 支出予算額)	令和3年度(見込み)		今後の方向性(概ね5年)	
		事業計画	事業目標		(単位:千円)	事業実績		課題
4	DX推進事業 【札幌市補助事業】	(R3年度で事業終了) ※中小企業DX推進事業へ統合		0	(4,645)	<ul style="list-style-type: none"> DX普及促進セミナー及びマッチングイベントの開催(169名参加:来場55名、オンライン114名) DX導入(IT利活用促進)に向けたアドバイスができる専門家の支援と、支援が可能な市内IT企業の可視化 DX学校の開催(22社参加)によるユーザー系企業のIT人材育成メニューの実施 	<ul style="list-style-type: none"> DXやIT導入に係る相談窓口対応の充実 DX導入(IT利活用促進)に向けたアドバイスができる専門家の支援と、支援が可能な市内IT企業の可視化 DXに取り組む企業の創出と財政的支援の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 将来的な商取引におけるデジタル化対応の促進(クラウドサービスのビジネスにおける積極活用)を視野に入れたIT利活用の常態化 大容量高速通信(5G、Wi-Fi6など)を見据えた新たな企業価値の創出(産業横断的なDXモデルケースの創出)
5	IT利活用ビジネス拡大事業 【札幌市補助事業】	(R3年度で事業終了) ※中小企業DX推進事業へ統合		0	(26,900)	<ul style="list-style-type: none"> IT利活用ユーザー企業向けセミナー:2回実施(オンライン開催)参加者:延べ50名参加 ニーズ調査対象:運輸(札幌地区トラック協会)、食(札幌洋菓子組合:スイーツ王国さっぽろ) 上記調査対象とIT企業による交流会:IT企業延べ17社参加。 ITコーディネータの活用等も含めた、ユーザー企業のマッチング支援:6件 IT利活用促進事業費補助金:7社採択 	<ul style="list-style-type: none"> セミナーやマッチングの結果のフォローアップ 他産業企業との効果的なマッチングにつながるIT化のニーズ調査及び掘り起しの実施 経営とのバランスを考慮したIT導入に向けたアドバイスができる専門家を積極的に活用し、IT利活用を目指す中小企業の戦略的IT投資の促進 	<ul style="list-style-type: none"> IT業界全体のリーディング・カンパニーとなる市内IT企業の育成 様々な産業分野と市内IT企業との連携による札幌発となる新サービスの創出
6	中小企業DX推進事業 【札幌市補助事業】 <R4年度から「DX推進事業」、 「IT利活用ビジネス拡大事業」、 を統合>	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業における社内DX人材の育成に向けた研修会を実施 市内中小企業のDX機運醸成に向け、市内IT企業と他産業分野とのニーズ調査、意見交換など交流会の開催 IT導入によるビジネス変革を促すビジネスイノベーション事例の紹介セミナーを開催 中小企業におけるDXモデルケースの創出に向けた専門家による伴走型支援の実施 自社業務のデジタル化に向けた市内中小企業におけるIT導入費の補助 市内中小企業のDX化促進に向け、市内IT企業との協業によるDXに係る取組(システム開発等)に対する補助 ウェットラボ入居企業を対象とした、研究開発に係る補助金の交付 	<ul style="list-style-type: none"> DXリーダー育成勉強会の開催(ユーザー系企業を対象としたIT人材育成。社内のデジタル変革を促すためのカリキュラムを実施):ユーザー系企業20社参加 DXニーズ調査及びマッチング:他産業分野におけるDX導入の可能性について、ニーズ調査と市内IT企業との意見交換など交流会(契約締結を視野に入れた小規模ディスカッション形式):他産業分野2部門、市内IT企業との交流会参加企業、延べ30社。 中小企業のDXモデルケース創出に向けた伴走支援を行う専門家などの派遣:40件程度 デジタル化推進支援補助金(旧:IT利活用促進事業費補助金)の交付 3,000千円(補助率1/2)×5件採択 DXモデル推進補助金(旧:ITビジネス創出支援事業費補助金の発展・吸収)の交付 7,000千円(補助率2/3)×4件採択 IT-バイオ研究開発補助金の交付 3件程度(計6,000千円) 	83,500	-	(R4年度新規事業)	<ul style="list-style-type: none"> 様々な産業分野と市内IT企業との連携による札幌発となる新サービスの創出 将来的な商取引におけるデジタル化対応の促進(クラウドサービスのビジネスにおける積極活用)を視野に入れたIT利活用の常態化 大容量高速通信(5G、Wi-Fi6など)を見据えた新たな企業価値の創出(産業横断的なDXモデルケースの創出) 	
7	xR普及促進支援事業 【札幌市補助事業】	<ul style="list-style-type: none"> xR技術活用による新ビジネス創出を目指し、BtoB向けxR普及促進イベントを開催し、本技術の普及促進やコミュニティ形成等の機運を醸成 	<ul style="list-style-type: none"> xR技術を持つ企業群と他産業分野との交流・マッチングを目的としたイベント「xR Exhibition」の開催支援(xRに関するビジネス創出に向けた少人数による複数カンファレンス形式) 	900	(900)	<ul style="list-style-type: none"> xR技術を持つ企業群と他産業分野との交流・マッチングを目的としたイベント「xR Exhibition in Sapporo2022」開催予定(3/4) 	<ul style="list-style-type: none"> xR技術の活用を促進と商材創出企業の更なるライトアップ 	<ul style="list-style-type: none"> xR市場への参入企業の更なる促進及び国内外にアピールできるxR商材創出への支援
8	ITイノベーション推進事業 【財団自主事業】	<ul style="list-style-type: none"> 学生や若年層を対象としたプログラミングなど、IT業界に興味を抱かせる啓発セミナーの開催 	<ul style="list-style-type: none"> 新技術活用の事例紹介セミナー(又はワークショップ):1件 	1,597	(2,982)	<ul style="list-style-type: none"> 市内IT企業向け先進的技術セミナーの実施(オンライン開催) 小中学生を対象とした体験イベント(ジュニア・プログラミング・ワールド)をオンラインにて開催(セッション数:17/参加延べ445名、ユニークユーザー数317名) 	<ul style="list-style-type: none"> 次世代の新技術に係る情報収集と、市内IT企業への迅速な展開 若い世代をIT業界に引き込み、人材として定着・確保していく 	<ul style="list-style-type: none"> 新技術を応用した新しいサービスモデルの創出や、必要とされる人材育成に資する機能の提供
9	ICT活用プラットフォーム関連事業 【札幌市補助事業】	<ul style="list-style-type: none"> H29年度に構築した「札幌市ICT活用プラットフォーム」の維持管理及び運営 プラットフォームの普及及び利活用の啓発 他のプラットフォームとの連携を含むデータ利活用促進に向けた調査・研究 「データ取引所」の運営 	<ul style="list-style-type: none"> オープンデータの利活用を推進する団体等及び札幌市との連携促進 登録データの利活用事例の創出 プラットフォーム(データ取引市場含む)への民間データの登録 データ取引市場を介した取引事例の創出 	17,520	(17,829)	<ul style="list-style-type: none"> H29年度に構築した「札幌市ICT活用プラットフォーム」の維持管理及び運営 スマートシティ実現に向けたプラットフォームのAPI機能拡充 札幌型観光MaaS事業における実証事業へのデータ提供 位置情報付きオープンデータの可視化による情報発信:1件 	<ul style="list-style-type: none"> データ利活用の促進に向けたモデル事例の発掘・創出 他のプラットフォームとの連携を含むデータ利活用促進に向けた調査・研究 	<ul style="list-style-type: none"> 利活用しやすいデータのオープン化 行政課題の解決と結び付けたデータの活用事例の創出 データ活用の人材育成 データ取引所の運営による民間データ取引の活性化

所管 番号	事業名	令和4年度		支出予算額 (前年度 支出予算額)	令和3年度(見込み)		今後の方向性(概ね5年)	
		事業計画	事業目標		(単位:千円)	事業実績		課題
インタークロス・クリエイティブ・センター(ICC)				50,976	(52,538)			
1	ICC施設管理運営事業 【札幌市受託事業】	<ul style="list-style-type: none"> 入居者やプロジェクトメンバー間の情報交換やモチベーション向上を目的としたミーティングの開催 クリエイターと他産業の企業の交流の場となって、新たなプロジェクトの創出や、両者のネットワークを活用した他産業の高付加価値化を図る取組 情報発信スペースを活用したクリエイティブ情報の効果的な発信と市民がクリエイティブに触れることが出来る企画の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 入居者やプロジェクトメンバー間のコミュニケーション活性化を図るイベント:年間4回以上 クリエイターと他産業企業がともに参加するセミナーやイベントの開催 情報発信スペースを活用したデザインやコンテンツを展示する企画の実施:年間4回以上 クリエイティブルーム入居率:85% ※面積ベース 	28,976	(30,538)	<ul style="list-style-type: none"> クロスガーデン利用者数:月平均110人(令和3年度目標値:月平均400人) 入居者、プロジェクトメンバー間のコミュニケーション活性化イベント:3回 上記のほか、入居者の状況把握やプロジェクト発掘の可能性を見出すため、随時入居にヒアリングを実施。 クリエイティブルーム入居率:60.4% ※面積ベース 	<ul style="list-style-type: none"> クリエイティブ産業の振興に寄与しうるクロスガーデンの活用方法(オンラインミーティング等との競合) 交流を求めるクリエイターが不在 クリエイティブルームの入居促進 長期入居者への支援のあり方 	<ul style="list-style-type: none"> クリエイティブルームは、SPRと統合したうえで新しい入居スペースとして運用 新しい入居スペースには、クリエイティブ産業だけではなく、様々な産業セクターの企業が入居可能
2	クリエイティブ産業振興事業 【札幌市補助事業】	<ul style="list-style-type: none"> 企業の商品サービスをテーマにしたデザインコンペの開催 クリエイターと他産業企業との連携による製品・サービスの高付加価値化やデザイン・コンテンツ関連市場の拡大、他産業企業のクリエイティブ活用の普及促進などを目的とした、クリエイティブ活用を促進する補助事業の実施(上述のデザインコンペと連動) 札幌メディア・アート・フォーラムをはじめ市内のクリエイティブ関係団体と連携した次世代若手クリエイター(学生を含む)の支援に関する取組の実施 クリエイター提案型の新商品・新サービスの創出支援 「デザイン経営」「デザイン思考」の浸透を目指すセミナーの開催 コーディネーターによるクリエイターと他産業の連携促進 	<ul style="list-style-type: none"> デザインコンペの受賞作品を活用したブランディングや広告宣伝を対象とした補助金の交付:1,000千円×3件 「デザイン思考」を学ぶセミナーやワークショップの開催 若手クリエイター(学生を含む)の人材育成に資する取組:年間2回以上 助成金を活用してクリエイターが創出する新商品・新サービス:2件以上 クリエイターやその他産業の企業を対象にしたセミナーの開催:年間2回以上 コーディネーターによるクリエイターと他産業の連携マッチング事例件数:6件(補助金の交付対象を除く。) 	22,000	(22,000)	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト創出件数:4件 クリエイター向けネットワーキングイベント:6回開催 クリエイティブ連携促進イベント:1回開催 クリエイターと他産業の連携によるクリエイティブ活用を促進する補助金(コンテンツ活用促進事業費補助金):採択7件 コーディネーター相談対応件数:52件(12月末現在) 他産業連携マッチング件数:6件 	<ul style="list-style-type: none"> 各種メンバー間の情報交換及び融合 他産業におけるクリエイティブ活用の意欲低迷 クリエイター提案型の課題解決プロジェクトの発掘・創出 登録プロジェクトのビジネス化促進 	<ul style="list-style-type: none"> ICCが入居企業にデザインやコンテンツの活用ノウハウを提供できるよう支援体制を構築 「デザイン経営」の浸透による他産業の事業者によるデザインやコンテンツの活用促進 セミナーや起業協賛型のコンペなどの開催による「デザイン経営」の理解促進とデザイン活用事例の創出機会を強化 ビジネスを深く理解するクリエイターやデザイナーの育成 デザインやコンテンツの発信拠点としてのプレゼンス強化
財団プロジェクト				6,023	(16,390)			
1	財団プロジェクト推進事業 【財団自主事業】	<ul style="list-style-type: none"> スタートアップ創出関連業務の受託と創業支援及び施設のあり方(機能と役割)の見直し検討 広報及び情報発信力の強化 特命事項に係る企画、立案及び総合調整 	<ul style="list-style-type: none"> 「札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会」及び「STARTUP CITY SAPPORO事業」と連携した創業支援、各拠点(SPR、中小企業支援センター、ICC及びエレクトロニクスセンター)の機能や役割の見直し。 ウェブサイト、SNS及びメルマガの活用方法見直し、広報力及び情報発信力の強化に向けた体制整備 財団における情報の共有化及び各拠点間や各事業間の連携による企業支援力のさらなる強化、人材育成、働き方改革ほか 	6,023	(16,390)	<ul style="list-style-type: none"> 札幌市スタートアップ創出関連業務の受託 広報担当課の設置とウェブサイト(産業ポータル)一部見直し 財団内の情報共有と拠点間及び事業間の連携推進、テレワーク制度の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 将来を見据えた組織力の強化と人材育成 企業支援のさらなる強化 施設のあり方(機能と役割)の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 諸課題の解決 指定管理の継続 自主財源の確保、拡大